

# 2012 年度事業計画

自 2012年4月 1日  
至 2013年3月31日

特定非営利活動法人エフアジヤパン

東京都千代田区四番町四 日本染色会館三階

## 2012 年度海外事業計画

### 1. ベトナム

#### 子どもの家支援事業

職員処遇状況改善支援による職員及び講師への給与・賞与の補填は、自己資金で継続。

保護児童の生活支援は、現在保護されている子どもの数が 3 人と少ないことから、支援を中断。子どもの家にある布袋の基金（約 29,000 ドル）で継続。

子どもの家を養護施設ではなく、ハイフォン市全体の児童福祉サービス機関に変える計画は、ハイフォン市人民委員会の承認待ち。開設後に、今後の支援を自治労本部と共に検討。

#### アジア子どもの家奨学金基金

前年度に行った奨学生への調査を基に、100 万円を基金に増額し、一人当たりの奨学金支給額を増やす予定。

#### 障がい児教室活動支援

5 つの障がい児教室に通う子ども達の保護者に対し、リハビリ研修を実施。保護者の参加による障がい児教室運営の支援。活動用具の寄贈。

#### 商品開発

子どもの家が児童福祉サービス機関になった後、布袋やエファグッズの製作を継続するかは要検討。

#### その他

ベトナム人調整員との契約は、少なくとも 6 カ月は継続。

### 2. ラオス

#### ヴィエンチャン市立図書館支援事業

前年度より予算を減額し、運営費や備品、図書支援を継続。

#### ラオス図書館協会支援

ラオス図書館協会の運営能力強化支援を継続。ラオス図書館協会が、地方の図書館関係者への研修、図書館協会による情報誌の出版、各県の図書館・図書室の監督、指導などができるよう支援を実施。

#### コミュニティ図書館・図書室への支援

ノンセンチャン村とタトーン村コミュニティ図書館に対し、新しい蔵書の購入や図書館開館の超過勤務手当て、隣村での読書推進活動を支援。

その他の開設したコミュニティ図書室や図書コーナーは、ラオス図書館協会を通じてモニタリング。

#### 地方子ども文化センター（CCC）支援事業

- ・セコン県 CCC

モニタリングを行い、必要に応じて活動用具を寄贈。

- ・ルアンパバン CCC

主に郡の CCC を対象に佐賀県本部による 2 年目の支援を 7 月まで継続。

#### ドンコイ子ども発達センター（民間の CCC）

スタディツアーの交流先として活用する。必要に応じて支援。

### **3. カンボジア**

#### 子どもの家（幼稚園教員養成学校および附属幼稚園）への奨学金

2012 年度の奨学金事業では、園児 30 名と訓練生 25 名に月 25 ドルを 10 カ月間支給する。

退職された保育士で元自治労組合員の荒川智子さんのボランティア活動を資金援助する。

書き損じ葉書による支援として、新築された附属幼稚園の遊具を整備する。

#### スラムの子どもの教育支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

前年度と同じプノンペン市内 3 カ所の寺子屋教室と隣県カンダールの村の寺子屋教室を支援する。

#### 国境地帯の子どもの教育支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

プリアビヒア県のタイとの国境地帯にある 13 カ所の寺子屋教室を支援する。

SCADP の現場での支援体制（事務所機能など）を強化する。

#### SCADP 児童保護施設

自治労組合員の参加を促進し、保護児童の生活改善活動を進展させる。

#### SCADP 就学前教育

カンボジア人の就学前教育専門家を採用し、教育の質を向上させる。

### **4. タイ**

ビルマ労働組合連盟（FTUB）が運営するビルマ（ミャンマー）からの移住労働者子弟の教育機関パラミ・ラーニングセンター支援を大阪府本部と共同で実施する。

以上

## 2012 年度国内事業計画

### 1. 組織拡大

- ・自治労県本部や単組への働きかけを継続的に行ない、会員・エファパートナーの加入拡大につとめる。新規加入促進だけでなく、継続のためのフォローアップにも力を入れる。

### 2. 書き損じハガキ収集

- ・前年度に引き続き、書き損じハガキの収集活動を積極的に展開し、ポスターの配布等を通して自治労県本部・単組へ協力を呼びかける。
- ・協力いただける県本部・単組にハガキ回収箱を配布し、設置・回収をお願いする。

### 3. 集会・イベント

- ・メーデー、自治労中央委員会(5月)、自治労定期大会(8月)にブースを出展し、パネル展示による活動紹介やグッズ販売等を行なう。
- ・組合、他団体主催の集会・イベントへの展示パネルの貸出しを行なう。
- ・2014年度に実施を検討している設立10周年記念事業の企画を開始する。

### 4. シンポジウム

- ・PSI-JC、DAWNと共同で、移住労働者の女性と子どもの権利をテーマとする下記シンポジウムを開催する。

『移住労働者の女性と子どもを考える』シンポジウム&ミュージカル

日時：5月14日(月)16:00~20:00 会場：自治労第1会館6階ホール

### 5. 学習会

- ・主に自治労組合員を対象に、子どもの権利に関連した学習会を開催する。

### 6. ネットワーキング

- ・エファジャパンの理念に合致する社会的ネットワークに参加し、他NGO団体、労組等との連携強化をはかる。

- ・子どもすこやかサポートネット(団体正会員・継続)
- ・児童労働ネットワーク(CL-Net)(団体正会員・継続)
- ・国際協力NGOセンター(JANIC)(正会員・継続)
- ・NGO-労働組合国際協働フォーラム(会員団体・継続)

以上

## 2012 年度広報事業・その他計画

### 1. 広報活動

#### (1) 2011 年度から継続（実施内容を変更しないもの）

- ・年次報告書の作成（2011 年度年次報告書／年 1 回）
- ・広報誌「えんばわ」の発行（年 4 回）
- ・メールマガジンエファ通信の発行（月 1 回～）
- ・自治労プレスリリース（月 1 回程度）
- ・エファジャパンパンフレット印刷
- ・エファジャパンHP
- ・書き損じハガキ募集ポスターの印刷・配布
- ・展示パネル更新
- ・自治労通信裏面広告
- ・イーココロ等各種インターネットサイトへの投稿・更新

#### (2) 2012 年度終了・減少するもの

特になし

#### (3) 2012 年度新規

- ・エファジャパン団体紹介 DVD 制作

### 2. ボランティア

- ・エファボラデー（月 1 回）
- ・年に 2 回ボランティア交流会を実施
- ・デザインボランティア（自治労裏面広告、ポスター、等）

### 3. 外部企業等との提携による募金・寄付活動

- ・ハイム化粧品 スマイルご縁（5 円）活動
- ・インターネット募金（Yahoo!募金、イーココロ）

### 4. 開発教育

- ・開発教育プログラム試作

### 5. インターン

- ・後期に 1 名募集予定

以上